

県立美術館の課題と 今後の検討の進め方について

1 老朽化の状況 近美

- ・ 予算の制約から改修に着手できていない箇所が多い。
- ・ 利用者の安全確保に向け、大規模改修を早急に行う必要がある。



大規模改修にあたり、今後の美術館の運営方針を整理し、基本的な改修の方向性をまとめる

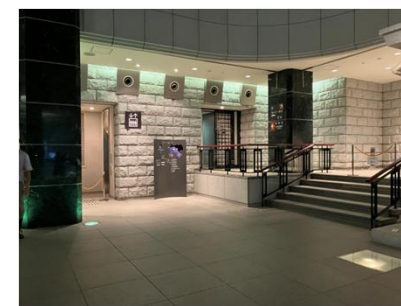
【参考】近年の主な改修

年度	内容	改修費(千円)
H30～ R1	第1期大規模改修 (展示ケース新設、防水対策、空調更新等)	929,000
R4～ R6	・加湿用貫流式ボイラー更新工事 ・非常用発電装置修繕 ・空調システム中央監視装置リモートユニット更新	11,550 7,920 16,500
R7	・改修基本計画策定 ・外壁等改修(設計) ・エレベーター更新(設計) ・冷却塔更新(設計・工事)	5,830 7,227 979 77,400
R8 (予定)	・外壁等改修(工事) ・エレベーター更新(工事) ・館内照明LED化 ・ボイラー付帯設備更新	243,210 264,264 7,898 5,593

《未改修箇所の例》



来館者用駐車場は舗装にひび割れが発生。区画線がほとんど剥げ視認できない。



エントランスから事務室側へのバリアフリー動線がない。

地盤沈下による外構
タイルの段差・傾斜

2 効果的・効率的な運営体制の検討 近美 万美

- ・ R7包括外部監査で、効果的かつ効率的な管理運営方法の検討についての意見あり。
- ・ 他県においては、約半数の都道府県が指定管理者制度により運営体制を構築。
- ・ 県の指針では、事業費10億円以上の大規模改修時にはPPP/PFI手法導入の検討が必要。

※指定管理者制度はPPPの一種



投資コストも踏まえ、民間のノウハウを活用しつつ公共サービスを提供できる体制の検討が必要

《参考①：R8.3包括外部監査結果(抜粋)》

- ・ 今後の修繕状況によっては、管理部門と学芸部門を切り離し、管理部門については指定管理者制度を利用することで運営経費の削減を考えることも可能になると考える。今後も、投資コストを加味した費用逓減についての検討も含め、効果的かつ効率的な管理運営方法について検討を継続していくことになる。

《参考②：都道府県立美術館の指定管理導入状況》

- ・ 導入あり…21
- ・ 導入なし…24 ← 本県含む

《参考③：新潟県PPP/PFI活用指針(R2.4)(抜粋)》

2. PPP/PFIの積極的活用

厳しい財政状況、人口減少の中で、効果的・効果的に公共施設等を整備・運営していくことが重要であり、PPP/PFI手法の導入は、公共施設等の整備・運営に民間の資金や創意工夫を活用することにより、効果的かつ効果的であって良好な公共サービスを実現することを目的としている。

したがって、公共施設の整備などを行う場合には一つの有力な選択肢としてPPP/PFI手法の導入を検討し、効果が見込まれる場合には積極的に活用を図るものとする。

(1) 検討の開始時期

- ① 新たに公共施設等の整備等を行うために基本構想、基本計画等を策定する場合
- ② 公共施設等の運営等の見直しを行う場合

(2) 対象事業

- ① 事業費の総額が10億円以上
- ② 単年度の運営費が1億円以上

3 両館の役割分担の整理

近美

万美

- ・ 万代島美術館は、近代美術館と一体補完しつつ、新潟市に現代の美術を中心に鑑賞できる新たな美術館として設置。
- ・ 包括外部監査で、両館の役割分担のあり方について検討するよう意見あり。



効果的・効率的な運営体制の検討にあたっては、改めて役割分担の整理が必要

	近代美術館	万代島美術館
常設展	収集した美術品等を、計画的に常設展示	なし
企画展	美術に対する理解を深めるため、特定のテーマに基づく意欲的な企画展を開催  描く人、安彦良和 3/7 - 5/24 THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART 新潟県立近代美術館  西洋絵画400年の旅 — 珠玉の東京富士美術館コレクション — 6.27 - 8.23 400 Years of Western Paintings Masterpieces from Tokyo Fuji Art Museum  きもののヒミツ 友禅のうまれるところ 《小堀 御子持通入書簡帖》 江戸時代中期（18世紀半葉） 株式会社半蔵ホームデザイン展  松岡達英の科学絵本 生命のすがた — こどもたち、大人たちへ — 松岡達英作『ジャンゲル』より 岩崎書店1953年発行	現代の美術に対する理解を深め、新しい価値を発見するため、特定のテーマに基づく意欲的な企画展を開催  大カプコン展 — 世界を魅了するゲームクリエイション — 2020.3.14 - 6.21 10:00 - 18:00 休館日：日曜日、2020.5.1（祝日）  大どろぼうの家  La modernité dans l'édition d'art française 花開くパリ・モダン 鹿島茂コレクション  大ピンチ展!

《参考：R8.3包括外部監査結果（抜粋）》

- ・ 両館の特性を踏まえつつ、協力体制や役割分担の在り方について、より効果的な連携が図られるよう、引き続き検討されたい。

4 にぎわい創出のための取組

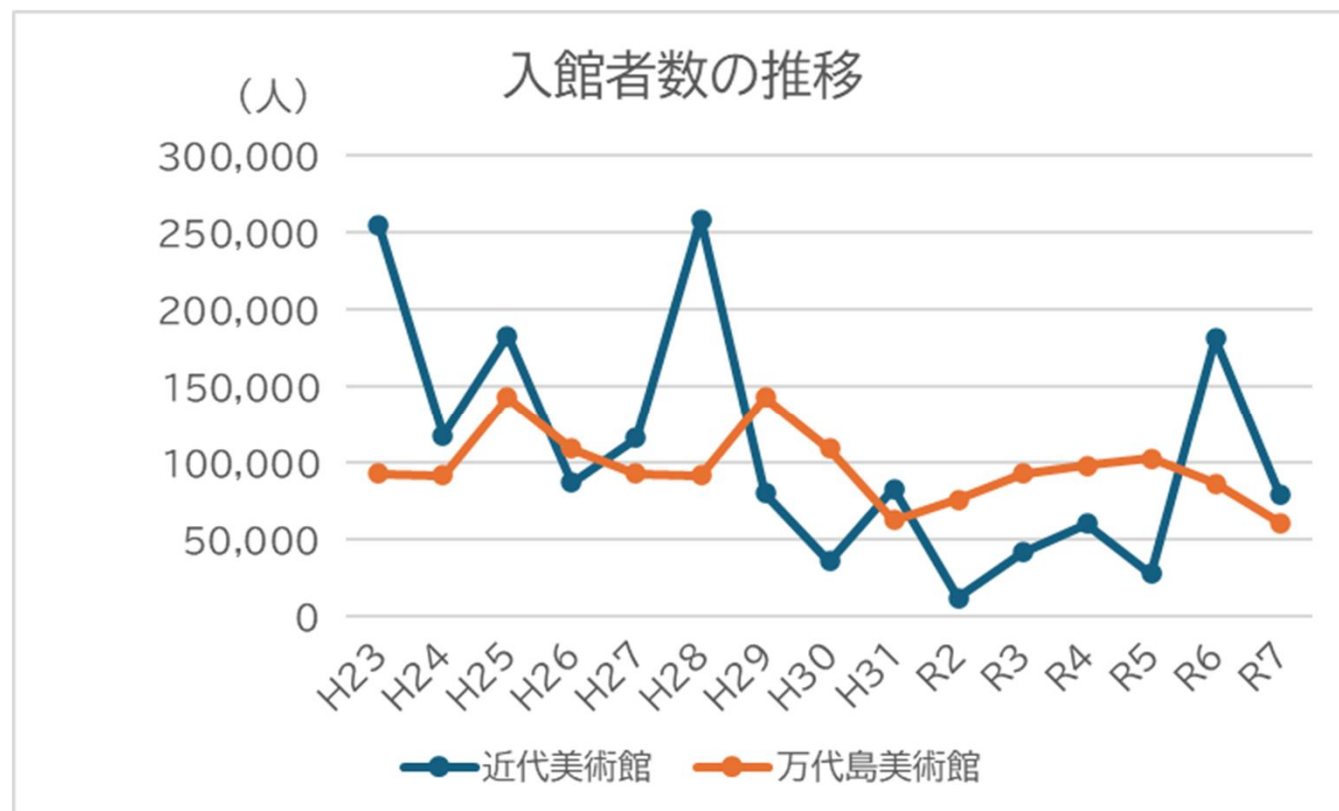
近美

万美

- ・ 企画展の内容等により年ごとのばらつきはあるものの、入館者数はコロナ前と比較し低調の傾向。
- ・ 他県においては、教育普及活動の充実により賑わいを創出。(資料7 富山県美術館)



ニーズを踏まえたにぎわい創出のための取組の検討が必要



5 遊休施設の活用 近美

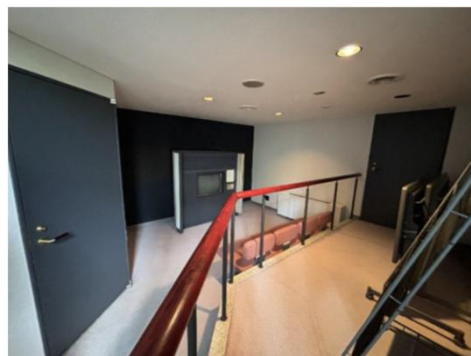
- ・ 近代美術館では、レストランやハイビジョン室が長期間活用されていない。
- ・ 屋上庭園などの屋外空間は管理が行き届かず、未利用・低利用のスペースとなっている。
- ・ 包括外部監査において、施設の有効利用について抜本的に改善を検討するよう意見あり。



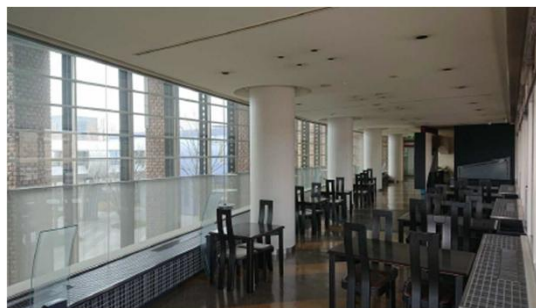
改修を機に、余剰・低未利用のスペースを有効活用する施設計画または運営のアイデアを導入し、施設のバリューアップを図る



屋上庭園



1階ハイビジョン室(休止中)



2階レストラン(休止中)

《参考：R8.3包括外部監査結果(抜粋)》

- ・ 近代美術館の1階のハイビジョン映像の映写室、2階のレストランの内装等はそのままの状態でも未使用(遊休)となっている。また、令和6年度の貸出し施設の稼働率は、講堂6.19%、ギャラリー5.26%、講座室1.74%となっており、近代美術館内の各施設が有効利用されているとは言い難く、施設利用の在り方を検討すべき状況は待ったなしと考えられる。

近代美術館においては、近代美術館の施設の有効利用が抜本的に改善されるよう検討を確実に進められたい。

6 収入確保策の検討 近美 万美

- ・ 包括外部監査では、施設の更新コストを踏まえ、収入確保策の検討についての意見あり。
- ・ 具体的には、ネーミングライツや、万代島美術館の朱鷺メッセとの連携などの意見あり。
- ・ 民間企業へのサウンディングでは、収益向上の施策として、貸館収入、余剰スペースの貸出・専用スペースの設置、ワークショップ等の開催、飲食、物販などのアイデアが得られた。



前記の遊休施設の活用や近隣施設と連携したイベントなどのほか、民間企業のアイデアを生かして収入を確保することも含め検討が必要。

《参考：R8.3包括外部監査結果(抜粋)》

- ・ 長期的視野に立ち、施設の更新コストを意識した更なる収入確保策について検討されたい。
- ・ スポーツ関連の施設では、新潟スタジアム等においてネーミングライツの導入が進んでいるが、県民会館等の文化関連の施設では取組がまだまだ進んでいないと考えられる。文化関連の施設へのネーミングライツの導入についても、検討を進められたい。
- ・ 万代島美術館については、例えば朱鷺メッセでのイベントに合わせた企画を行うことが考えられる。朱鷺メッセの来場者にも足を運んでもらえるような企画を検討されたい。

7 これまでの検討状況

◎R6文教施設における多様なPPP/PFIの先導的開発事業(※) 調査報告書の概要

※コンサルタントによる地方公共団体等に対する調査検討支援(文部科学省支援事業)

■ 近代美術館の課題と方向性

老朽化への 対応

- ・過去H27年度に策定した段階的な大規模改修の計画について、現時点で未実施の項目が多い
- ・早期に改修工事が必要な箇所も残っているが、予算の制約から一挙に改修を実施することができていない
- ・対応できていない老朽化により、外構の凹凸・雨漏り等の機能上の問題や美観上の問題が生じている

➤ 民間資金を活用することで、必要な改修を一挙に実施し、老朽化により生じている問題を解消する

スペースの 活用

- ・廃止された常設店舗(臨時店舗には利用)やレストランが余剰スペースとなっている
- ・屋上庭園などの屋外空間は予算の制約から管理が行き届かず、未利用・低利用のスペースとなっている
- ・講堂・ギャラリー・講座室の貸出利用が少なく、その周りの独立したロビーも活用されていない
- ・映像機器の老朽化から、ハイビジョンギャラリーも活用されていない

➤ 民間事業者のノウハウを活かした提案により、改修を機に、余剰・低未利用のスペースを有効活用する施設計画または運営のアイデアを導入し、施設のバリューアップを図る

美術振興志向 の展示の観覧 者数の増大

- ・施設の設置目的から、県の美術振興を志向した展示に触れる観覧者数を増やす必要がある
- ・美術振興を志向した展示はサブカル系の展示に比べ観覧者数が少ないが、サブカル系の人気の展示が呼び水になる場合がある
- ・周辺に連携が考えられる公園等の施設が存在する利点を活かすことが求められる

➤ 周辺施設との連携や展示の魅力の高さを維持することにより来館機会を向上し、観覧者数の増大を通して美術振興を志向した展示に触れる観覧者数を増やす

収支の改善

- ・観覧料収入が支出に対して大幅に小さいことから、県の負担が大きい

➤ スペースの活用や来館機会の向上による収入増大を目指す
➤ 民間活力・ノウハウの導入による運営・維持管理の効率化を目指す

7 これまでの検討状況

◎R6文教施設における多様なPPP/PFIの先導的開発事業 調査報告書の概要

■ 万代島美術館の課題と方向性

ポテンシャルの有効活用	・立地に恵まれた高い集客力や連携が考えられる朱鷺メッセ他施設の存在といったポテンシャルの高さを活かす必要がある ・ポテンシャルを最大限活かすには企画展の開催回数・開館期間を増やす必要があるが、現在の県の学芸員による展覧会企画(主に外部企画)を前提にすると、人員の制約により企画展の開催回数は限られてしまう ➢ 民間活力の導入により企画展の開催回数・開催期間を増やすことで観覧者数を増大する ➢ 民間事業者の創意工夫で、周辺施設と連携したイベント等により企画展一つあたりの観覧者数も増大する
収支の改善	・企画展のほとんどが、実行委員会形式であり、収益と費用が分配されることで、展覧会による利益が少ない ・展覧会による利益よりも、人件費・運営費・管理費の支出の方が大きく、県の負担が生じている ・管理費は、ビル管理組合に負担金として支払うため、効率化の余地がない ➢ 民間ノウハウの導入による運営の効率化を目指す ➢ 民間活力・創意工夫によるポテンシャルの有効活用から、収入増大を目指した収益志向とする方向性も検討する
美術振興への寄与	・常設展がないことから、美術振興に係る設置目的が果たせていない ➢ 近代美術館の案内や認知度向上の仕掛けを講じ、近代美術館で志向される美術振興に寄与する



両館において、民間活力の導入により収支改善が期待できる。

【想定事業スキーム】

近代美術館 …PFI-RO 万代島美術館…コンセッション

(想定事業スキーム及び民間事業者へのマーケットサウンディング結果は次回以降の会議で説明)

7 これまでの検討状況

■ 近代美術館改修基本計画(案) 近美

- ・R7に、建設時の設計会社とともに、施設の安全性、機能維持、収蔵環境、利用者サービス等の観点から改修内容を整理した基本計画案を策定。

改修基本計画案(概要)

近代美術館がめざすもの

～ 時代の変化に対応したこれからの美術館 ～

県民が芸術に親しむ機会提供と教育普及のさらなる充実をめざす総合美術館

改修計画(概算額:34億36百万円)

※財政課との調整未了

- ◎ 美術館施設を維持していくために必要な改修(26億42百万円) …資料6(ア)
…老朽化対策および安全・安心な施設の維持を図るため、危険性が高く、早急な対応が必要な項目
- ◎ 「県民が芸術に親しむ機会提供と教育普及のさらなる充実をめざす総合美術館」となるために必要な改修
(7億94百万円) …資料6(イ)
…社会状況や利用者ニーズの変化への対応および来館者の利便性向上を図るために必要な項目

(その他、緊急性は高くないが、美術館としての機能維持と拡充のために将来的に検討が必要な改修(38億68百万円)) …資料6(ウ)

⇒ 改修基本計画案をベースに、有識者の意見も踏まえ、今後の方向性を整理する

8 今後の検討の進め方

今後の美術館運営についての検討が喫緊の課題となっている。

これらの課題について、本委員会において、専門的知見を有する有識者の幅広い意見を聴取し、今後の美術館運営の方向性を整理する。

■ スケジュール(案)

	目的	具体的内容
第1回 (9月16日)	・現状・課題の共有	・現状・課題説明 ・近代美術館内視察
第2回 (10～11月頃)	・県立美術館の役割・ 機能と今後の方向性	・公立美術館の役割 ・両館の役割分担
第3回 (11～12月頃)	・持続可能な運営とにぎわい創出	・持続可能な運営体制 ・にぎわい創出の方向性 ・施設の有効活用 ・収入確保の方策
第4回 (1～2月頃)	・最終とりまとめ	・意見確定

※回数、時期は目安であり、議論の状況によって変更が生じる場合がある